

民児協 あこう



広げよう 地域に根ざした 思いやり

第 51 号 平成 29 年 秋号



10月20日 民生委員制度創設100周年記念大会 於：赤穂市文化会館



民生委員児童委員行動宣言

1. 安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献します。
2. 地域社会での孤立・孤独をなくす運動を提案し行動します。
3. 児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組みを進めます。
4. 多くの福祉課題を抱える生活困難家庭に粘り強く接し、地域社会とのつなぎ役を務めます。
5. 日頃の生活を活かし、災害時に要援護者の安否確認を行ないます。

全国民生委員児童委員連合会



民生委員児童委員 各地区活動報告

御崎地区「四校園所との懇談会」

夏休みに入った7月27日、御崎公民館において、学校等の先生方と、懇談会を開催いたしました。先生方に、学校園所の最近の様子を話していただき、児童・生徒について、意見交換いたしました。駐在所巡査部長からの話では、空き巣について、「犯人は赤穂の人間ではなく遠方から来た人間。田舎は戸締まりをしていないからという理由で、赤穂を狙った」ということで、自分自身も戸締まりを心がけると共に、ご近所や高齢者の方への声かけが大切だと、実感しました。



赤穂地区「敬老会」

赤穂地区は各自治会単位で敬老会を行いました。その内の山手町は9月10日に集会所で行なわれ、対象者130名のうち29名が参加されました。お世話は自治会役員、民生委員、地域福祉推進委員でおもてなしをしました。腹話術、マジック、ハーモニカ演奏があり美味しい弁当を食べ、その後ビンゴゲームを行い、全員で楽しく過ごしました。今年は民生委員制度創設100周年記念の年に当たることを、皆様にお話をしました。



坂越地区「ふれあい敬老会」

坂越地区では、9月18日に全地区が敬老会を開催しました。潮見町も集会所に於いて盛大に行なわれ、今回の対象者は55名で32名の方が出席されました。会が始まりお弁当を頂きながら、催し物として坂越出身の歌手「坂越かな歌謡ショー」が行なわれ、懐かしい歌を数多く歌って頂き楽しいひと時を過ごしました。ショーの終わりには、花束を贈呈し閉会しました。次回もお元気で、お会いしたいと思います。

城西地区「地区から届ける敬老のころ」

城西地区の敬老会は、各自治会単位で行われました。地元の獅子舞、フラダンスや健康体操、幼稚園児のかわいらしい合唱や小中学生によるメッセージプレゼント、その他ビンゴゲームなど、各自治会が趣向を凝らし盛りだくさんで、あちこちで笑いあったり、旧交を温めたり本当に楽しく、ころころ安らぐ一日を過ごしました。



高雄地区「きめ細かな活動を目指して」

高雄地区地域福祉推進連絡会は、自身に課せられた役割はもちろんのこと、まちづくり連絡協議会主催の行事の内、地区敬老会をはじめ、花見交歓会、友愛訪問事業、交流もちつき大会などは、私達会員が中心となって活動しております。女性が7割余りを占め、女性ならではのきめ細かな配慮が其々随所に発揮され、充実した事業となっています。これからも協力しながら、お年寄りや地域のためにしっかりと頑張っていきたいと思っています。



塩屋地区「料理教室」

給食サービスの休み期間を利用して、9月22日に料理教室を開きました。塩屋では給食弁当を作る時に、「店で買えない惣菜を手作りで」を基本に各自得意とする料理案を持ち寄り月々の献立を作ります。今回の研修は、今までに人気のあったクリームコロッケとソース2種、小魚と大豆の蜜からめ、スイーツの水羊羹を提案者に教わりました。参加者の中に男性の姿もあり、ほほえましく、又頼もしい思いがしました。会員の中には、元洋食店主、管理栄養士、料理好きの主婦等、多彩な顔触れがそろい、教わる事が多い研修でした。



有年地区「東有年の盆おどり」

毎年8月、地区の盆踊りが、「千種の苑」の広場で行われ地域の方々の良き交流の場となっています。会場の設営、運営も「自治会」と「千種の苑」が行い、入所者の方々は、庭のテーブルでおでん・たこ焼き・アイスを食べ、踊りを見たり、車いすで踊りの輪に入れたりして楽しんでいます。地域の方々も参加し、楽しいひと時を過ごしています。また、会場を盛り上げるため、バンド演奏や踊りの先導をする方々が、応援に来てくれています。一番の楽しみは、最後に行われる福引で、毎年豪華な景品が当たります。今年は、踊りに入る前に小雨となり、急きょ踊りは中止となりましたが、福引に入り大変盛り上がりしました。



西部地区「施設訪問研修」

特別養護老人ホーム桜谷荘・デイサービスセンターやすらぎの二施設を、西部地区地域福祉推進連絡会19名が訪問しました。桜谷荘では、食事など利用者に合わせて普通食・キザミ食・ミキサー食・トロミ付き等個別に対応され、また入浴も利用者の体力に応じた入浴の仕方等心配りがされていると感じました。デイサービスセンターやすらぎも、利用者の個別連絡帳、健康チェック等をして各自に応じた一日の通所介護計画が作成されていて、「デイサービスに通い出し、本人が明るくなった」と聞き、両施設とも入所者・通所者が老後の生活を豊かに送れるように、職員一同が日々頑張っておられ感心しました。今回の研修、心温まる思いで全員帰路につきました。

広報部会

- 広報部会は年に2回、春と秋に民児協あこうを発行しています。部員で討議し内容方針を決め、各地区から提案写真と記事を集めて、編集会議を行ないます。
- 何度も編集会議を行い内容を確認し、完成した「民児協あこう」を市民の皆さんや関係機関に配布しています。



尾崎地区「兵庫楽農生活センターを訪問」

尾崎地区地域福祉推進連絡会では、9月19日に31名の会員で神戸市にある、兵庫楽農生活センターを訪問しました。センターでは、農作業体験や農山漁村との交流などを通して、もっと食や「農」に親しみ、より人間らしい暮らしを送ろうという、兵庫県が提唱する新しいライフスタイルを実感できます。体験をしたのは、きのこ館での菌床きのこ栽培見学、収穫体験と農器具の展示等（昔の農機具、現在の農機具を展示）の見学でした。訪問を通して多くのことを学習できました。





いっぱい遊ぼう

幼い子どもは親といっしょに遊ぶことが大好きです。いっしょにしていると、始終、遊びをせがんできますね。「忙しい」と言わずに遊んでやるのが大切です。その時子どもは、親がどのくらい心をかけて遊んでくれているか感じ取っています。

ハイハイしている子どもが、しぐさで親を遊びに誘ってきたら、床に手をつき視線を子どもと同じくらいの高さにしてハイハイで追いかける。追いかけてつかまえ、抱き上げて笑う。親自身が遊びを楽しんでいると、子どもにその気持ちが伝わります。子どもは、親と遊ぶことを喜び心から満足します。

玩具メーカーは「発育をうながす」という文句で親の買う気をそそります。ピカピカ光るおもちゃでなくても、身の回りに遊びに使えるものはたくさんあります。おもちゃを買うなと言う訳ではありませんが、一番のおもちゃは“あなた”です。子どもは、よじ登る・振り回される・揺らされる・くすぐられるのが大好きです。

親が立って見下ろしては、子どもは楽しくありません。姿勢を合わせしゃがんだり寝転んだり、子どもに合わせていっしょに遊び、本気で楽しみましょう。

児童福祉部会

地域のいろいろな人と繋がり、関係機関との連携をよりスムーズに行なうために研修を行いました。

主任児童委員は各中学校区で活動しており、児童館活動、赤ちゃん訪問、個別援助などの活動内容について理解を深めました。さくらこども学園施設長の講演、青少年育成センター所長の講義では、社会的養護の現状において、子どもたちを見守ることによる支援の必要性を再認識しました。

子どもが健やかに成長するために、子どもの話は「静かに、黙って聞く」ことをこころがけ、身近でいつでも気兼ねなく相談できる社会にしましょう。

障がい者福祉部会

第40回赤穂精華園祭へ協力参加しました。利用者と保護者及び地域の人々が、ふれあいながら理解と親睦を深める場を体験しました。来園者は2千人以上、すばらしい絆を実感しました。

研修では、市の職員から障がい福祉サービス体系・施策の説明を受け、支援制度について理解を深めることができました。

貴重な研修体験を積み重ね、障がい者やその家族などからの相談に対応できるように努めてまいります。



老人福祉部会

今年度も、「在宅100歳以上高齢者友愛訪問」を計画し、実施しました。市内で13名の在宅高齢者の各家庭を、部員が手作りした『記念色紙』と品物を添えて友愛訪問を行ないました。その際、部員への感謝と元気な笑顔が印象強かったです。

いつまでもお元気で長生きされますようお祈りします。

編集後記

平成29年は民生委員制度創設100周年記念の年に当たります。それに伴い今年色々な行事が開催されます。赤穂市は10月20日に赤穂市文化会館で民生委員制度創設100周年記念大会を行いました。大会の様子については、次の民児協あこうでお知らせします。今後とも気持ちを投入して民生委員の活動情報を赤穂市民へ発信します。

広報部会